

マイクロトランシーバー CentreCOM 210T/210TS、MX10/MX10S ユーザーマニュアル

この度は、CentreCOM 210T/210TS、MX10/MX10S をご購入いただきまして誠にありがとうございます。本書をお読みになり、正しい設置を行ってください。

■ ご使用になる前に

まず、SQE TEST SWITCH(HEARTBEAT)を設定してください。接続する DTE に対して、SQE TEST が必要な場合には ON(1)に、不要の場合には OFF(0)にします。ピンセットのような先の尖ったものを使用し、しっかりとどちらかの位置に設定してください。ハブ、リピーターのステーションポート(AUI)に接続して使う場合、必ず OFF に設定してください。よく分からない場合は、OFF でご使用ください。工場出荷時設定では OFF となっています。

■ 210T/210TS の取り付け

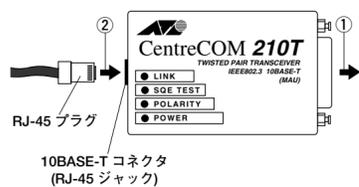


図1 210T/210TS の取り付け

- ①210T/210TS を機器 (DTE) の 10BASE5 コネクタ (AUI) に接続し、機器のスライドロックで固定してください。
- ②10BASE-T コネクタにツイストペアケーブルの RJ-45 プラグを「カチッ」と音がするまで差込んでください。
- ③ツイストペアケーブルを引っ張って、抜けないことを確認してください。

※ RJ-45 プラグは、親指でプラグの爪を押えながら手前に引くと抜けます。

■ 210T/210TS のランプ

POWER(緑)

210T/210TS が接続されている装置の電源が投入されているとき点灯します。ランプが点灯しない場合、電源が供給されていないことを意味します。

SQE TEST(黄)

SQE TEST が ON の場合に点灯します。

使用および取り扱い上の注意

本製品を安全に使用するために、以下の事項を必ず守ってください。これらの事項が守られていない場合、感電、怪我、火災、故障などの原因になります。



分解禁止

カバーを外さないでください
本製品のカバーを外したり、本製品を分解したりしないでください。感電や故障の原因となります。



感電注意

稲妻危険
稲妻が発生しているとき、本製品やケーブルの設置などの作業を行わないでください。落雷により、感電する恐れがあります。



プラグを抜く

取り付け、ケーブル配線は電源を抜いてください
本製品の取り付け、ケーブル配線などの作業を行う場合は、本製品を接続する機器の電源を必ず切ってから行ってください。電源を入れたまま、この作業を行うと本製品を接続する機器の故障の原因となることがあります。

LINK(緑)

ハブ(相手装置)が動作している場合、LINK ランプが点灯します。点灯しない場合、ハブの電源が入っていない、ケーブルが接続されていない、ケーブルが間違っているなどの原因が考えられます。

POLARITY(緑)

ツイストペアケーブルの RD の極性が正常の場合、POLARITY ランプが点灯します。点灯しない場合は、RD+ と RD- の信号線が反転して接続されています(このランプが消灯していても使用上の問題はありせん)。

■ MX10/MX10S の取り付け

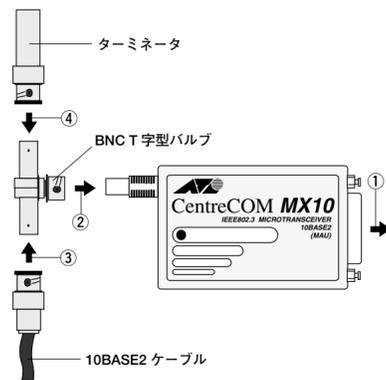


図2 MX10/MX10S の取り付け

- ①MX10/MX10S を機器 (DTE) の 10BASE5 コネクタ (AUI) に接続し、機器のスライドロックで固定してください。
- ②BNC T 字型バルブを 10BASE2 コネクタに差込み、ギザギザの部分を持って、押しながら右に回してください。T 字型バルブはロックされ抜けなくなります。
- ③手順②で取り付けした T 字型バルブの両端に、10BASE2 ケーブルの BNC コネクタを接続してください。
- ④更に、T 字型バルブのもう一方の端に、10BASE2 ケーブルを接続してください。ただし、本トランシーバーがネットワークの一番端の DTE に取り付けられる場合、T 字型コネクタの一方はターミネーターとなります。

※BNC コネクタは、ギザギザの部分を持って、押しながら左に回してロックを外し、コネクタを手前に引っ張ると抜けます。

■ MX10/MX10S のランプ

MX10/MX10S が接続されている装置の電源が投入されると、MX10/MX10S のランプが点灯します。SQE TEST が ON の場合には、黄色に点灯し、OFF の場合には緑色に点灯します。ランプが点灯しない場合、電源が供給されていないことを意味します。

■ 製品仕様

準拠規格

Ethernet Version2.0
IEEE802.3 10BASE-T (210T/210TS)
IEEE802.3 10BASE-2 (MX10/MX10S)

電源部

定格入力電圧: DC12V
入力電圧範囲: DC10.8 ~ 13.2V
最大消費電力: 1.8W
最大発熱量: 6.3kJ/h

外形寸法(突起部含まず)

210T: 47(W) × 63(D) × 21(H) (mm)
210TS: 46(W) × 73(D) × 23(H) (mm)
MX10: 47(W) × 63(D) × 21(H) (mm)
MX10S: 46(W) × 73(D) × 23(H) (mm)

質量

210T: 75 (g)、210TS: 85 (g)
MX10/MX10S: 90 (g)

環境条件

動作時温度: 0 ~ 50℃
動作時湿度: 80% 以下 *1
保管時温度: -20 ~ 70℃
保管時湿度: 95% 以下 *1

*1 ただし、結露なきこと。

■ 保証

本製品の保証内容は、製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」に記載されています。製品をご利用になる前にご確認ください。本製品の故障の際は、保証期間の内外にかかわらず、弊社修理受付窓口へご連絡ください。

アライドテレシス株式会社 修理受付窓口

Tel: ☎0120-860-332
携帯電話 / PHS からは: 045-476-6218
月~金(祝・祭日を除く)
9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 17:00

本製品と DTE の間に AUI ケーブルを接続して使用しないでください。



禁止

次のような場所での使用や保管はしないでください

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所(結露するような場所)
- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所(湿度80%以下でご使用ください)
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュースを敷いた場所(静電気障害の原因にもなります)
- ・腐食性ガスの発生する場所



指示

日常のお手入れ

本製品の汚れは、やわらかい乾いた布でふいてください。ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。製品の変形、変色の原因になります。

■保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害(人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない)については、当社は、その責を一切負わないこととします。

■ ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、次の「サポートに必要な情報」をご確認のうえ、弊社サポートセンターへご連絡ください。

アライドテレシス株式会社 サポートセンター

<http://www.allied-tesis.co.jp/support/info/index.html>

Tel: ☎0120-860-772

携帯電話 / PHS からは: 045-476-6203

月~金(祝・祭日を除く)

9:00 ~ 12:00 13:00 ~ 18:00

■ 使用しているハードウェアについて

* 製品名、製品のシリアル番号(S/N)、製品リビジョンコード(Rev)をお知らせください。製品のシリアル番号、製品リビジョンコードは、製品に添付されているバーコードシールに記入されています。

(例)  S/N 00077000002346 Rev AA

■ お問い合わせ内容について

* どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に(再現できるように)お知らせください。
* エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージの内容のプリントアウトなどをお送りください。(パスワードや固有名詞など差し障りのある情報は、抹消してお送りくださいますようお願いいたします。)

■ ネットワーク構成について

* ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図をあわせてお送りください。
* 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをお知らせください。

■ ご注意

* 本書に関する著作権等の知的財産権は、アライドテレシス株式会社(弊社)の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。
* アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく、本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。
* 弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正・改訂することがあります。また、弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

©2004 アライドテレシスホールディングス株式会社

■ 商標について

* CentreCOM はアライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。

■ マニュアルバージョン

1996年 9月 Rev.A 初版

1999年 6月 Rev.B 記述訂正

2004年 11月 Rev.C 記述訂正